

# BRAVIA Signage Free

ユーザーガイド

# 目次

はじめに	3
ソフトウェアの入手	4
提供パッケージ	5
1. 概要	6
BRAVIA Signage Free とは	7
機能概要について	8
再生可能なコンテンツについて	9
シームレス再生について	12
2. 準備するもの	13
3. 基本的な使い方	14
3.1. スライドショー再生を利用する	15
3.2. プレイリストを作成し再生する	18
3.3. 再生スケジュールを設定する	24
4. より進んだ使い方	29
4.1. テロップを表示する	30
4.2. BGM を入れる	33
4.3. プレゼンテーションモードの利用	35
5. 注意事項や補足事項	36
コンテンツ再生について	37
そのほか	39
[スケジュール設定] 画面について	41
6. BRAVIA を利用したセットアップ	42
6.1. USB メモリーにセットアップを行う	43
6.2. 内蔵ストレージにセットアップを行う	46
6.3. 内蔵ストレージを使用した運用を終了する	50
6.4. 内蔵ストレージにセットアップしたコンテンツを更新する	51
Appendix I. メディアフォーマットの推奨仕様	52
動画	52
静止画	52
音声	52
Appendix II. シームレス再生仕様	54
対応プラットフォーム	55
必要な設定	56
シームレス再生可能なコンテンツの組み合わせ	57
更新履歴	58
商標表示	67

# はじめに

# ソフトウェアの入手

---

以下いずれかの方法でソフトウェアを入手してください。

- [ダウンロードページ](#)からパッケージをダウンロードする。
  - ダウンロードしたZipを展開してUSBメモリのルートディレクトリにコピーする。
- BRAVIA にプリインストール（※）されているアプリケーションを使用する。

※ 一部モデルのみインストールされています。アプリを使用するためにはファームウェアのアップデートが必要になる場合があります。詳細は [6. BRAVIA を利用したセットアップ](#)を参照してください。

# 提供パッケージ

---

ダウンロードページで提供するパッケージには以下が含まれます。ご使用にあたりご確認ください。

- sony フォルダ:
  - 本ソフトウェアになります。お使いの USB メモリーのルートフォルダにコピーして利用しますが、動作に影響するため、本フォルダ名を含め、本フォルダに含まれるファイル一式の内容を変更しないでください。
- manual フォルダ:
  - 本ソフトウェアのマニュアルになります。
  - BRAVIASignageFree\_UserGuide\_ja.pdf: 本ドキュメント（日本語版）になります。
  - BRAVIASignageFree\_UserGuide\_en.pdf: 本ドキュメント（英語版）になります。
  - BRAVIASignageFree\_UserGuide\_zhs.pdf: 本ドキュメント（簡体中文版）になります。
- media フォルダ:
  - 本ソフトウェアのスタートアップで利用するコンテンツのサンプルが含まれています。
- tools:
  - Microsoft Power Point で作成したスライドを静止画に変換するツールが含まれています。ツールの利用方法は readme.txt を参照 ください。
- NOTICE.txt :
  - 本ソフトウェアが利用しているオープンソースのライセンスに関する記載が含まれています。
- eula :
  - エンドユーザーライセンス契約 (EULA) です。本ソフトウェアを利用する上で承諾していただく必要があります。
- RELEASE\_NOTE\_ja.txt :
  - 本ソフトウェアのリリースノート（日本語版）になります。
- RELEASE\_NOTE\_en.txt :
  - 本ソフトウェアのリリースノート（英語版）になります。

本ソフトウェアの最新情報については、下記の URL を参照ください。

- <https://pro-bravia.sony.net/resources/software/bravia-signage-free/>

# 1. 概要

# BRAVIA Signage Free とは

---

BRAVIA Signage Free (以下 BSF) とは、動画、静止画、HTML コンテンツを USB メモリーにコピーし、BRAVIA に接続することでこれらのコンテンツを再生するためのソフトウェアです。

BSF では以下の三つの再生方法があります。

[1] スライドショー再生 動画、静止画などの再生したいコンテンツを USB メモリーにコピーし、BRAVIA に接続すると自動的に再生が開始します。複数のコンテンツをコピーした場合、ファイル名順に再生されます。

[2] プレイリスト再生 BRAVIA に接続された USB メモリーにコピーされたコンテンツを利用し、プレイリストを作成することができます。プレイリストとは、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順番をリスト化したものです。たとえば、動画 A、静止画 B、動画 C を順番に再生したい場合、動画 A, 静止画 B, 動画 C を順番に並べたものがプレイリストです。

BRAVIA の画面上でリモコンを使いプレイリストの作成を行うことができますが、事前にプレイリストを作成しておくことで、運用時にこれらのプレイリストを切り替えるだけで、BRAVIA で再生するコンテンツを切り替えることができます。

[3] スケジュール再生 作成したプレイリストに対し再生スケジュールを設定することができます。BRAVIA の画面上でリモコンを使いスケジュールを設定することができますが、スケジュールは「曜日の指定」または「日時の指定」と「開始時刻」と「終了時刻」の組み合わせで設定することができます。

## 機能概要について

---

BSF には上記の再生機能に加えコンテンツ再生のための設定機能があり、すべての設定はリモコンを利用して設定することができます。設定した内容は BRAVIA の内蔵メモリに保存されます。

[1] BGM やテロップの設定 再生するコンテンツに対し BGM やテロップを指定することができます。テロップにはテキスト文字列以外に、以下のよう  
に文字色、背景色、クロール設定をすることができます。背景色は「なし」「あり」「あり(透過)」から選択できますが、設定した文字色に応じ、固定の背景色や透過率で表示されます。また設定したテキストが長い場合、クロール設定を利用することで、右から左へテキスト情報をクロールすることができます。

[2] エフェクトや再生時間の設定 再生するコンテンツ間の切替時のエフェクトとして、フェードアウト・フェードイン設定することができます。また静止画や HTML コンテンツに対し表示時間を設定することができます。本表示時間の設定は動画には適用されず、動画の再生時にはその再生時間が利用されます。

[3] プレイリスト BRAVIA に接続された USB メモリーにコピーされたコンテンツを利用し、プレイリストを作成することができます。プレイリストには、再生するコンテンツ、再生時間、テロップ、BGM の設定ができます。また作成中のプレイリストを確認するためのプレビュー機能があります。

[4] 再生スケジュール 作成したプレイリストに対し再生スケジュールを設定することができます。本設定を行うことで、そのスケジュールに従ってコンテンツの再生を開始、終了することができます。

[5] プレゼンテーションモード 通常再生するコンテンツは自動的に切り換わりますが、プレゼンテーションモードを有効にすることで手動で表示コンテンツを切り換えることができます。スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生によらず、再生開始後にリモコンの左右ボタンでコンテンツを切り替えることができます。



# 再生可能なコンテンツについて

---

BSF は以下の動画、静止画、音声 (BGM)、HTML の再生に対応しています。別途推奨される条件について Appendix I. メディアフォーマットの推奨仕様に記載してありますので、コンテンツを準備または作成する際に必要に応じご確認ください。

## 動画

再生できる動画は以下のとおりです。

(1) 以下のコーデックに対応した MP4 形式のビデオ

- ビデオコーデック: AVC
- オーディオコーデック: AAC-LC/HE-AAC

(2) 以下のコーデックに対応した MPEG TS 形式のビデオ

- ビデオコーデック: AVC/MPEG2
- オーディオコーデック: AAC-LC/HE-AAC/MP1L2

(3) 以下のコーデックに対応した MP4 形式の 4K 解像度のビデオ (4 K モデルのみ利用可能、最大フレームレートは 3840x2160@60p)

- ビデオコーデック: AVC/HEVC
- オーディオコーデック: AAC-LC/HE-AAC

## 静止画

再生できる静止画は以下のとおりです。

- PNG, GIF, JPEG, BMP
- JPEG 形式の 4K 解像度の静止画 (4K モデルのみ利用可能です)

## 音声

BGM として再生できる音声は以下のとおりです。

(1) 以下のコーデックに対応した MP4 形式の音声

- オーディオコーデック: AAC-LC/HE-AAC

(2) 以下のコーデックに対応した MP3 形式の音声

- オーディオコーデック: MP3

## HTML

HTML コンテンツの再生にも対応してますが、より詳細の情報は  
“BRAVIA B2B HTML5 Solution Technical Manual” をご参照ください。

## コーデック情報

上記の動画および音声について、コーデックに対応する規格は以下のとおりです。

コーデック	対応する規格
MPEG-4 Part 10 (AVC/H.264)	BP@L3, MP@L4, HP@L4, 3D in top-and-bottom, side-by-side is supported.
MPEG-4 Part 10 (4K)	BP@L4.2, MP@L4.2, HP@L4.2, 3D is not supported.
HEVC (4K)	MP@L5.1, M10@L5.1, 3D is not supported.
AAC-LC	32k, 44.1k, 48k/384 kbps (max.)/up to 5.1ch
HE-AAC	32k, 44.1k, 48k/(ISO/IEC 14496-3 compliant/profile level 3)/up to 2ch

## シームレス再生について

---

シームレス再生とは、表示コンテンツ切り替え時に黒画面を挟まずに連続再生する機能です。

BSF は特定のコンテンツに対してシームレス再生に対応しています。

シームレス再生の仕様について Appendix II. シームレス再生仕様 に記載していますので、コンテンツを準備または作成する際に必要に応じご確認ください。

## 2. 準備するもの

本ソフトウェアを利用する前に、以下のハードウェアを準備していただく必要があります。

[1] BRAVIA

[2] 以下のいずれかの OS を搭載したパソコン

- Windows 10 (64bit)
- Windows 11 (64bit)
- macOS

[3] USB メモリー

- NTFS 形式または FAT32 形式、exFAT 形式でフォーマットした USB メモリー (BRAVIA の台数だけ準備する必要があります)

## 3. 基本的な使い方

ここでは基本的な使い方として、三つの再生方法についてセットアップからコンテンツの再生までの手順を説明します。なおこれらの手順を実施するにあたり、お使いの USB メモリーのルートフォルダの配下に本ソフトウェア (提供している sony フォルダ) をコピーする必要があります。また本手順の説明では、提供物の media フォルダ配下にあるサンプルのコンテンツを用いています。

- [1] スライドショー再生 (3.1. スライドショー再生を利用する))
- [2] プレイリスト再生 (3.2. プレイリストを作成し再生する)
- [3] スケジュール再生 (3.3. 再生スケジュールを設定する)

## 3.1. スライドショー再生を利用する

---

スライドショー再生とは、BRAVIA に接続された USB メモリーに保存されているコンテンツをファイル名順に再生していく再生方法です。動画を除く、静止画および HTML については固定の表示時間時間で再生されます。本表示時間は設定画面で変更することができます。

### 再生開始までの手順 (必須)

[1] USB メモリーのルートフォルダの配下に media フォルダを作成し、その配下にサンプルのコンテンツの”01\_cosmetic\_landscape.jpg”と”02\_cosmetic\_portrait.jpg”をコピーします。

[2] Android 10.0 以降の BRAVIA を使用する場合は、以下のようにUSBメモリーによるアプリケーション起動を有効にする必要があります（詳しくは、[USBドライブ自動実行の設定](#)を参照ください）。

- プロ設定 > 機能設定 > USBドライブ自動実行 > ウェブアプリの起動  
“有効”に設定

[3] USB メモリーを BRAVIA に接続します。

[4] 手順 [1] でコピーしたコンテンツがファイル名順に再生されます。アプリ起動後に再生が開始されない場合は、リモコンの“1”ボタンを3秒間長押しすると、[基本設定]画面が表示されるので[再生モード]が“スライドショー再生”になっているかご確認ください。



## 再生に関する設定変更手順 (任意)

USB メモリー接続後、自動で再生が開始されますが、その再生に関する設定を変更することができます。上記のようにリモコンの“1”ボタンを3秒間長押しすると、[基本設定]画面が表示されますが、本画面で以下の設定を変更することができます。なおBRAVIA画面上での操作は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定ボタンで操作します。

- 切替エフェクト 再生中のコンテンツ間の切替時のエフェクトとしてフェードアウト/フェードインを設定することができます。
- 再生時間 再生中のコンテンツの表示時間を設定することができます。動画ファイルを再生する場合、本設定は適用されず動画ファイルの再生時間が利用されます。





そのほかの設定については、以降で説明します。

## 3.2. プレイリストを作成し再生する

プレイリスト再生とは、プレイリストを作成し、そのプレイリストを選択すると、そのコンテンツが再生される再生方法です。1. 概要 のとおり、プレイリストとは、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順番をリスト化したものですが、プレイリストの作成は BRAVIA の画面上でリモコンを使って作成、編集することができます。プレイリストに指定できるコンテンツは、BRAVIA に接続されている USB メモリーのルートフォルダ配下の media フォルダ配下にあるファイルになります。

BRAVIA 画面上での操作は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定キー、カラーボタンで操作します。

### プレイリストの作成手順 (必須)

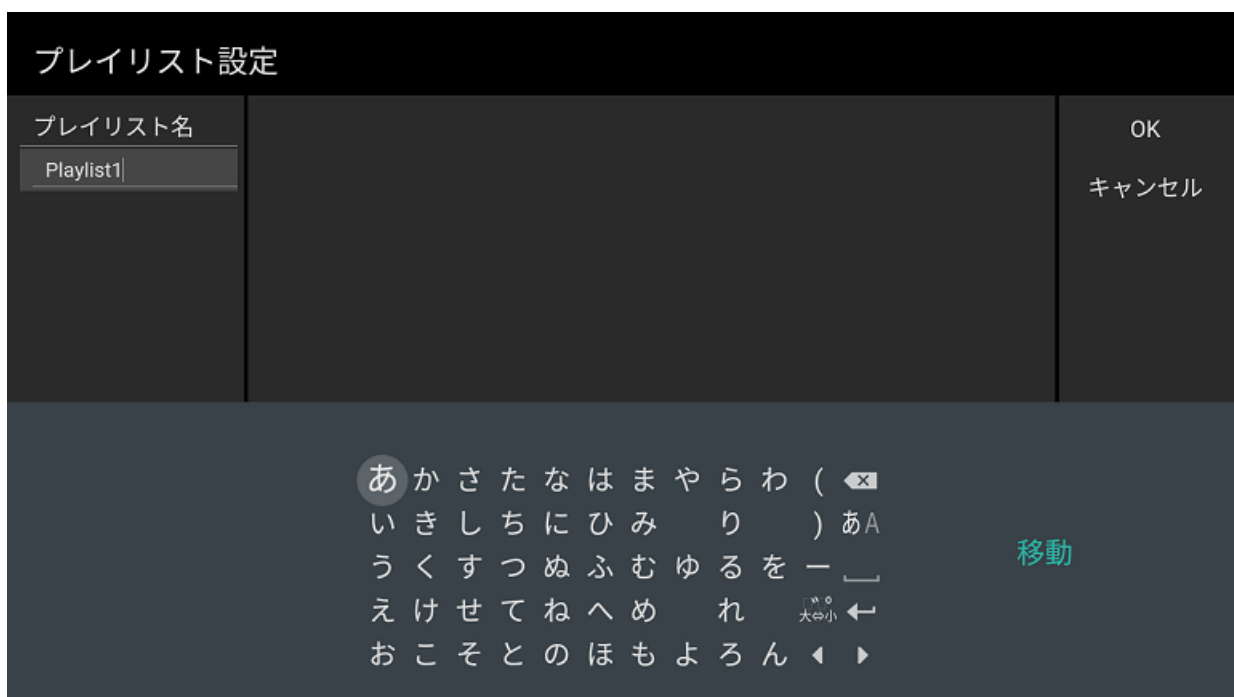
- [1] USB メモリーのルートフォルダの配下に media フォルダを作成し、その配下にサンプルのコンテンツの”01\_cosmetic\_landscape.jpg”と”02\_cosmetic\_portrait.jpg”をコピーします。
- [2] USB メモリーを BRAVIA に接続します。
- [3] アプリ起動後、リモコンの”1” ボタンを 3 秒間長押し [基本設定] 画面に移動します。

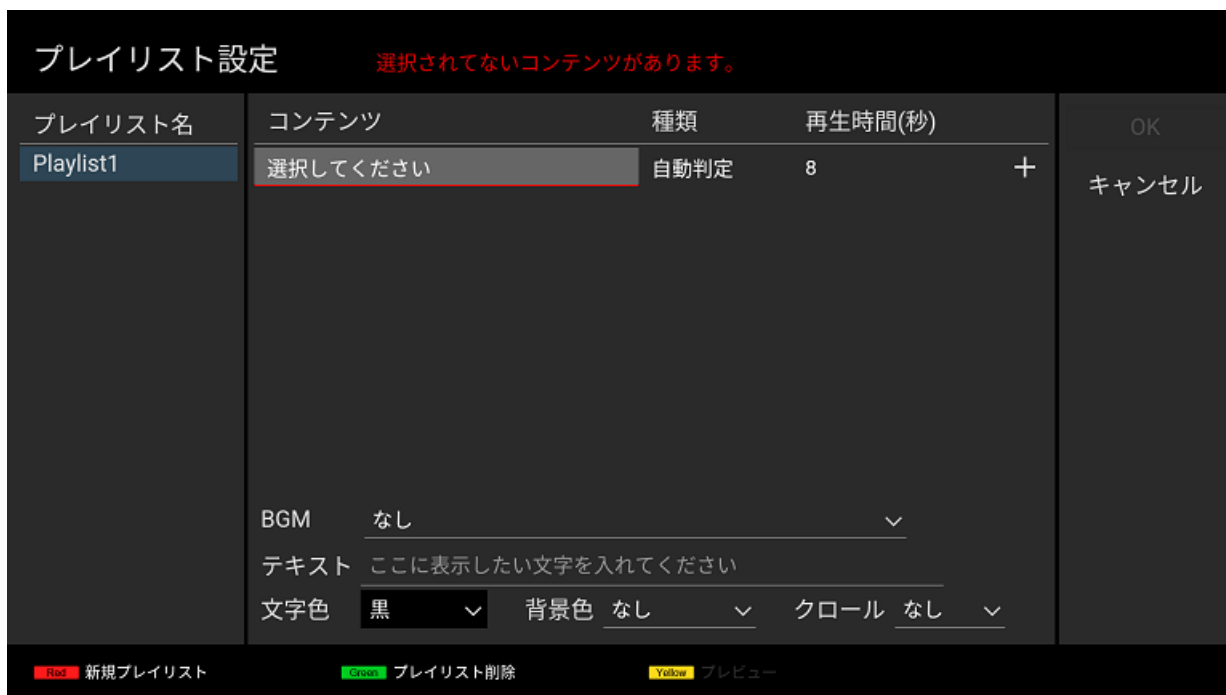


[4] リモコンのカラーボタン (赤) を押下し、[プレイリスト設定] 画面に移動します。



[5] [プレイリスト] 設定画面において、リモコンのカラーボタン (赤) を押下すると、プレイリストを新規に作成することができます。カラーボタン (赤) を押下後、ソフトウェアキーボードが表示されるのでプレイリスト名を入力します。ここでは“Playlist1”を入力しています。

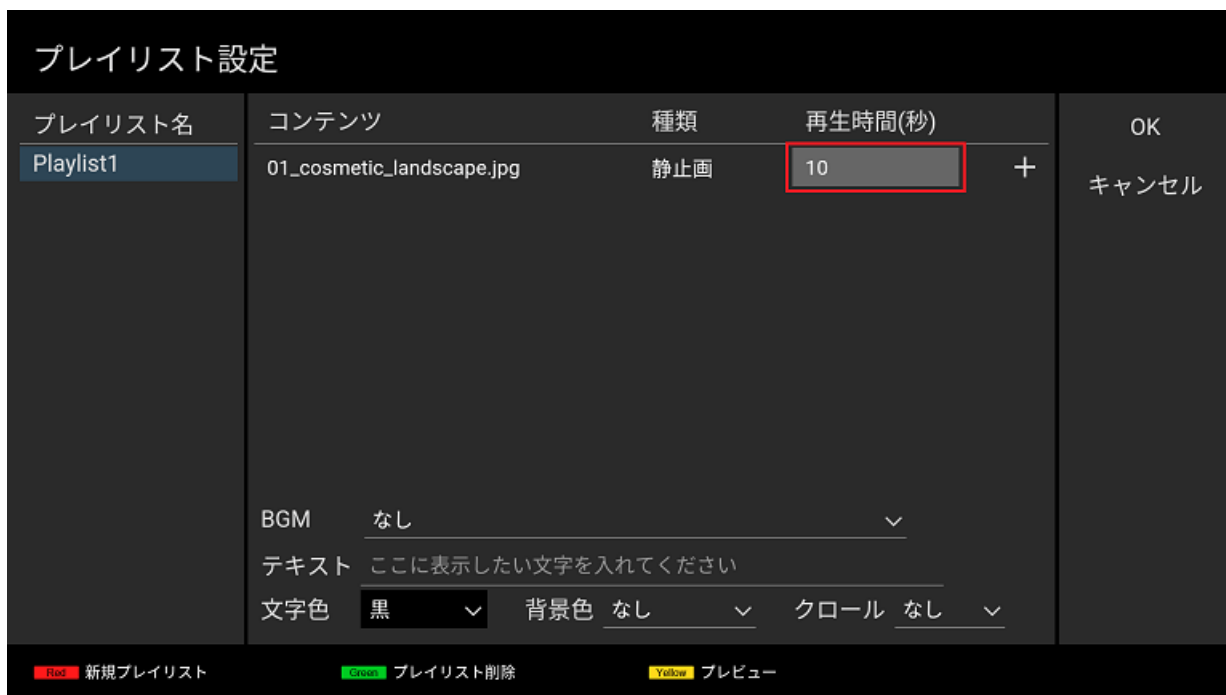




[6] 画面右側に移動し [コンテンツ] にフォーカスをあて、コンテンツを選択します。コンテンツ選択後、[種類] が自動的に選択されます。ここでは“01\_cosmetic\_landscape.jpg”を選択しています。

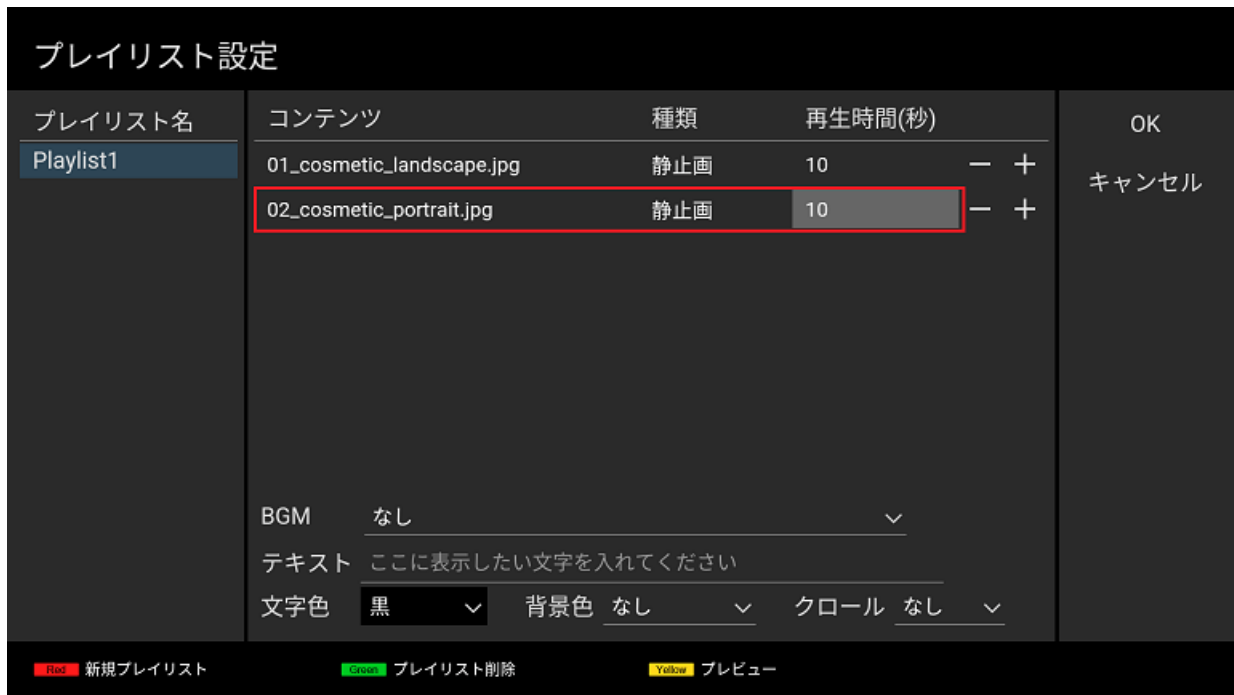


[7] 次にそのコンテンツの [再生時間(秒)] にフォーカスをあて、再生時間を選択します。ここでは“10”を選択しています。



[8] 続いて、画面上の“+”にフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下し、2つ目のコンテンツを設定します。同様に [コンテンツ],[再生時間(秒)] を指定してください。ここではおのこの“02\_cosmetic\_portrait.jpg”と“10”を選択しています。



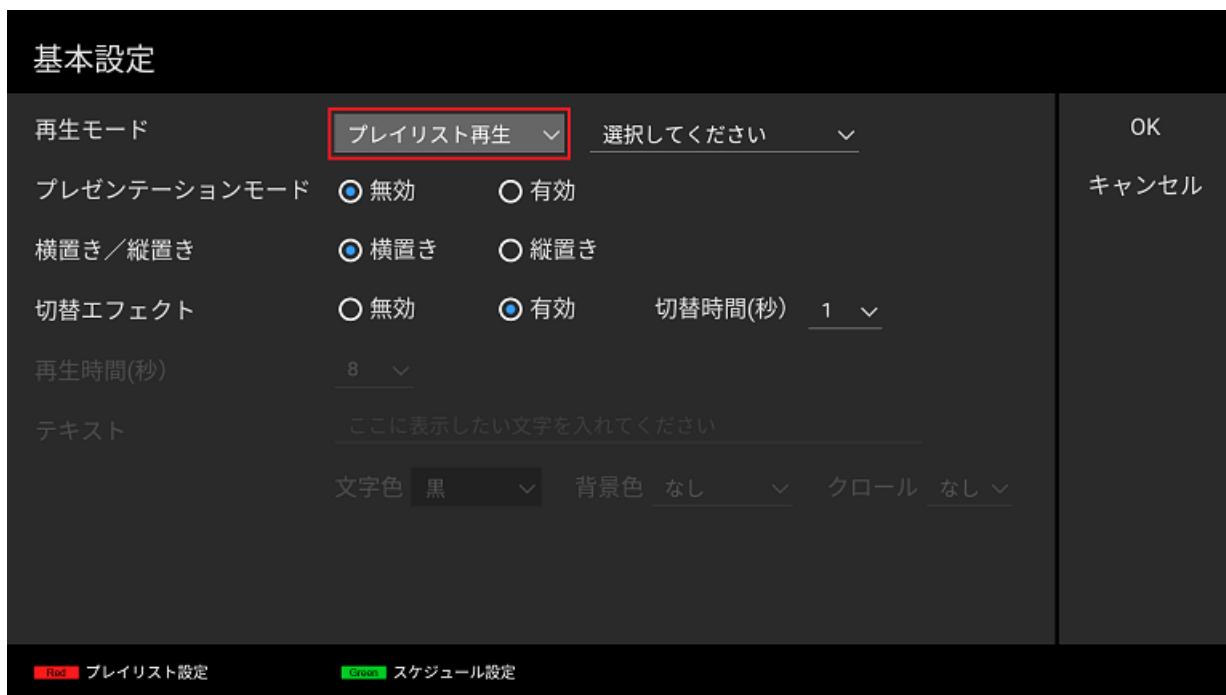


[9] 画面右側の [OK] ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下すると、編集したプレイリストのデータが保存され、[基本設定] 画面に戻ります。

以上でプレイリストの作成は完了です。画面上のほかの設定については、以降で説明します。

## 再生に関する設定変更手順 (必須)

続いて、上記で作成したプレイリストを再生するために設定変更をします。[9] [基本設定] 画面において、[再生モード] を“プレイリスト再生”に変更します。



[10] [再生モード] の右側から上記で作成したプレイリスト名を指定します。ここでは“Playlist1”を選択しています。



[11] 画面右側の [OK] ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下すると、再生画面に戻り“Playlist1”の再生が開始されます。

## 3.3. 再生スケジュールを設定する

スケジュール再生とは、作成したプレイリストに対し再生スケジュールを指定し、そのスケジュールに従って再生を行う再生方法です。スケジュールは「曜日」または「日付」と「開始時刻」と「終了時刻」の組み合わせで設定することができます。また曜日や日時設定せず、毎日同じように再生できるように設定することもでき、BRAVIA 画面上での操作は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定ボタン、カラーボタンで操作します。

### プレイリストの作成手順 (必須)

プレイリストの作成方法については [3.2. プレイリストを作成し再生する](#) を参照ください。

### スケジュールの設定手順 (必須)

[1] プレイリスト作成し保存すると、[基本設定] 画面が表示されますが、ここでリモコンのカラーボタン (緑) を押下し、[スケジュール設定] 画面に移動します。

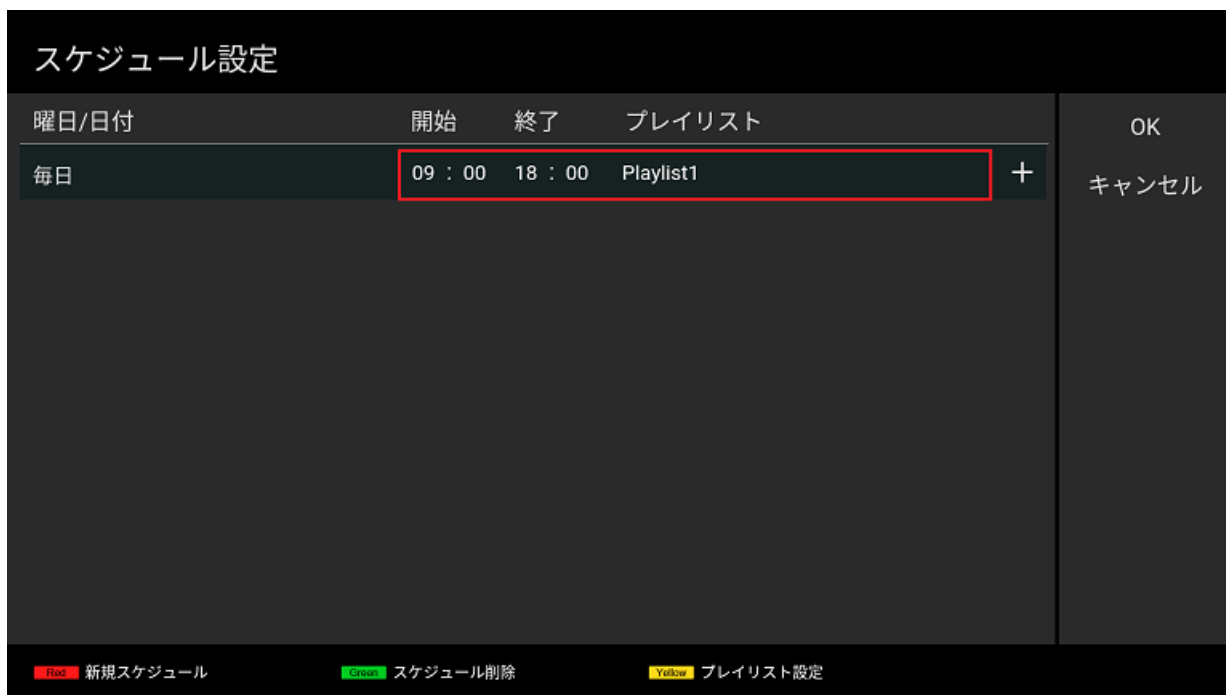




[2] [スケジュール設定] 画面において、リモコンのカラーボタン (赤) を押下すると、スケジュールを新規に作成することができます。カラーキー (赤) 押下後、画面上にダイアログが表示されるので、指定したいスケジュールを入力します。ここでは、“Playlist1” の再生を毎日 09:00 に開始し、18:00 に終了するスケジュールを指定します。ダイアログ上で [毎日] を有効にし、[OK] ボタンを押下します。



[3] 次に“毎日”と表示されている箇所にフォーカスをあてリモコンの決定ボタンを押下すると、[開始時刻] と [終了時刻]、[プレイリスト] を指定することができます。ここでは、おのあの“09:00”、“18:00”、“Playlist1”を指定しています。スケジュールの編集後、リモコンの戻るボタンを押下してください。



[4] 画面右側の [OK] ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下すると、作成したスケジュールのデータが保存され、[基本設定] 画面に戻ります。

## 再生に関する設定変更手順 (必須)

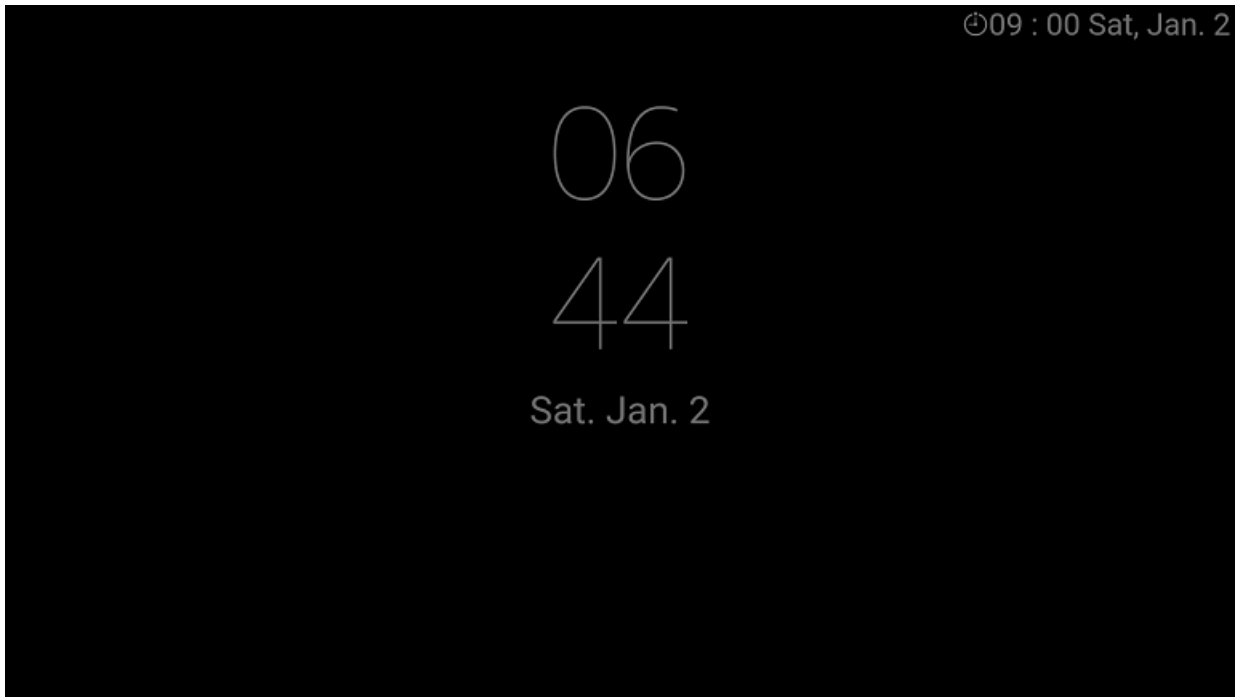
続いて、上記で設定したスケジュールを再生するために設定変更をします。

[5] [基本設定] 画面において、[再生モード] を“スケジュール再生”に変更します。



[6] 画面右側の [OK] ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下すると、再生画面に戻ると設定したスケジュールに従い”Playlist1”の再生が開始されます。

なお指定したスケジュールの時刻になっても再生されない場合、BRAVIA 本体の日付、時刻設定と設定したスケジュールが合っていない可能性があります。BRAVIA の画面上に何も再生されない場合、リモコンの画面表示ボタンを押下すると、画面中央に BRAVIA 本体に設定されている日時、右上に次の再生時刻が表示されるので、この情報をもとに設定を見直し再度再生されるか確認してください。



## 4. より進んだ使い方

ここでは 3. 基本的な使い方 での手順に加え、以下の表示に関する設定を追加で行い表示内容を変更する手順を説明します。なおこれらの手順を実施するにあたり、お使いの USB メモリーのルートフォルダの配下に本ソフトウェア (提供している sony フォルダ) をコピーする必要があります。また本手順の説明では、提供物の media フォルダ配下にあるサンプルのコンテンツを用いています。

[1] テロップ (4.1. テロップを表示する)

[2] BGM (4.2. BGM を入れる)

[3] プレゼンテーションモード (4.3. プレゼンテーションモードの利用)

## 4.1. テロップを表示する

スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生によらず、コンテンツ再生時に特定位置にテロップ文字列を設定することができます。ここではその手順について説明します。

### スライドショー再生の場合

[1] 3.1. スライドショー再生を利用する の手順 [1] から [3] までを実行します。

[2] [基本設定] 画面に移動し、[テロップ] の [表示文字列] を入力してください。[表示文字列] にフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下することで入力できます。ここでは“はじめのテロップ”と入力しています。



[3] 続いて [文字色] と [背景色] を指定します。ここでは各々“黒”と“あり(透過)”を選択しています。[背景色] が“あり”または“あり(透過)”の場合、選択した文字色に応じ固定の背景色、透過率で背景が表示されます。



[4] 最後に [クロール] の設定を行います。ここでは“低速”を選択しています。“なし”以外を選択した場合、テロップとして表示するテキストは左から右へクロールし表示されます。



[5] 画面右側の [OK] ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押下すると、編集した設定の内容が保存され再生画面に戻ります。再生されるコンテンツの下方に“はじめてのテロップ”と表示されるか確認をしてください。

## プレイリスト再生の場合

[1] [3.2. プレイリストを作成し再生する](#) の手順 [1] から [8] までを実行します。

[2] [プレイリスト設定] 画面上に表示されている [テロップ] について、上記の“スライドショー再生の場合” の手順 [2] から [4] と同様に設定を行います。なお1つのプレイリストに対し1つのテロップ設定を行うことができます。

[3] [3.2. プレイリストを作成し再生する](#) の手順 [9] から [11] までを実行します。再生されるコンテンツの下方に“はじめてのテロップ”と表示されるか確認をしてください。



## 4.2. BGM を入れる

---

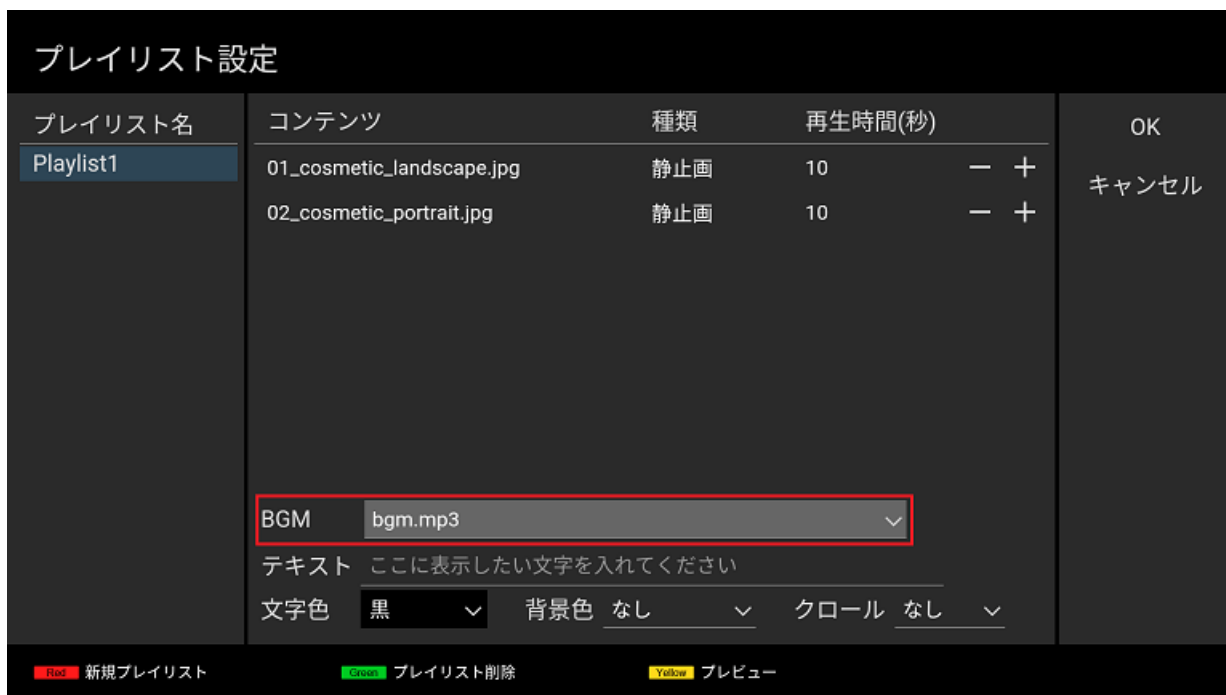
スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生によらず、コンテンツ再生時に BGM を流すことができます。ここではその手順について説明します。なお設定した BGM は静止画の表示のときのみ再生され、動画および HTML の表示時は対象外となります。

### スライドショー再生の場合

- [1] [3.1. スライドショー再生を利用する](#) の手順 [1] を実行します。
- [2] 同様に media フォルダ配下に BGM として利用する音声ファイルをコピーします。ここではサンプルのコンテンツの “bgm.mp3” をコピーします。
- [3] [3.1. スライドショー再生を利用する](#) の手順 [2] から [3] を実行します。コンテンツの再生に合わせ、指定した音声ファイルの音声が出力されるか確認してください。

### プレイリスト再生の場合

- [1] [3.2. プレイリストを作成し再生する](#) の手順 [1] から [8] までを実行します。
- [2] [プレイリスト設定] 画面上に表示されている [BGM] にフォーカスをあて、BGM として設定する音声ファイルを設定します。ここでは “bgm.mp3” を選択しています。



[3] 3.2. [プレイリストを作成し再生する](#) の手順 [9] から [11] までを実行します。コンテンツの再生に合わせて、指定した音声ファイルの音声が出力されるか確認してください。

## 4.3. プレゼンテーションモードの利用

---

プレゼンテーションモードを有効にすると、スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生によらず、再生開始後にリモコンの左右ボタンでコンテンツを切り替えることができます。

### 利用方法

- [基本設定] 画面において、[プレゼンテーションモード]を“有効”にし、画面右側の [OK] ボタンを押下すると、モードが変更されます。
- モード変更後、リモコンの左右ボタンで表示コンテンツを切り替えることができます。

## 5. 注意事項や補足事項

ここでは、本ソフトウェアを利用する上での、そのほかの補足事項や注意事項について説明します。基本となる使い方は、[3. 基本的な使い方](#) および [4. より進んだ使い方](#)、BRAVIA 画面上に表示されるエラーメッセージなどを参照ください。

# コンテンツ再生について

## スライドショー再生

- ファイル名の先頭の文字が . (ピリオド) のコンテンツおよびファイル名に # (シャープ) が含まれるコンテンツは再生されないのでご注意ください。
- HTML コンテンツを再生する場合、以下のように media フォルダ配下にコピーする必要があります。
  - フォルダを作成し、そのフォルダ直下に index.html という名称でエントリーポイントとなる html ファイルを配置してください。(index.html というファイルがない場合、そのフォルダ内の動画および静止画は、動画および静止画としておのおの再生されます。)
  - media フォルダ配下にある動画や静止画は、そのファイル名順に再生されますが、HTML コンテンツの場合は index.html を含むフォルダ名が利用されます。
    - たとえば、USB メモリーのルートフォルダに以下のような media フォルダがコピーされている場合、以下の順番でコンテンツが再生されます。
      1. 1\_file.jpg
      2. 2\_file.mp4
      3. 4\_dir/index.html
      4. 5\_dir/0\_dir/index.html
      5. 5\_dir/1\_file.jpg
      6. 5\_dir/2\_file.mp4
      7. 6\_dir/index.html

ファイルの配置と再生順序の例)

```
media
+ 1_file.jpg
+ 2_file.mp4
+ 3_file.html
|
+ 4_dir
| + index.html
|
+ 5_dir
| + 0_dir
| | + file.jpg
| | + file.mp4
| | + index.html
| |
| + 1_file.jpg
| + 2_file.mp4
| + 3_file.html
| + 4_file.css
|
+ 6_dir
+ 0_dir
| + file.jpg
| + file.mp4
| + sub.html
|
+ 1_file.jpg
+ 2_file.mp4
+ 3_file.css
+ index.html
```

- USB メモリーの media フォルダ配下に音声ファイルを複数コピーすると順にファイルが再生されます。再生される順序は上記のとおりです。

## スケジュール再生

- 設定した終了時刻になるとプレイリストの再生は終了しますが、再生途中の場合であっても、終了時刻時点で再生は終了します。
- 設定したスケジュールの時刻となってもコンテンツが再生されない場合、BRAVIA 本体の日付、時刻設定と設定したスケジュールが合っていない可能性があります。その場合、リモコンの画面表示ボタンを押下すると、画面中央に BRAVIA 本体に設定されている日時、右下に次の再生時刻が表示されるので、この情報をもとに設定を見直し再度再生されるか確認してください。



## BGM について

- BGM は静止画の再生時のみ出力されます。動画および HTML コンテンツを再生時は音声は出力されません。
- BGM の再生開始時、再生中のコンテンツの表示が一瞬途切れることがあります。運用にあたり、十分に再生時間の長い BGM の使用を推奨します。

## そのほか

---

- コンテンツの切り替わり時に、読み込みによる黒画が発生することがあります。
- お使いのモデルに応じ、動画の再生開始時、冒頭の1秒ほど音声が出力されない場合があります。動画コンテンツを運用するにあたり、音声開始時刻を遅らせるなど冒頭に音声のないコンテンツの利用を推奨します。


## [基本設定] 画面について

- BRAVIA 本体を縦置にして運用する場合、表示するコンテンツのアスペクト比について9:16でなく16:9で作成してください。縦置用のコンテンツの上辺は右側になります。なお同梱しているサンプルの“02\_cosmetic\_portrait.jpg”が縦置用のコンテンツのサンプルとなります。
- [横置/縦置モード] は、表示するコンテンツを回転する設定ではありません。本設定の変更により、テロップの表示位置が横置または縦置の場合で変更されます。なお設定画面の縦置には対応していません。

## [プレイリスト設定] 画面について

- ファイル名に#(シャープ)が含まれるコンテンツは再生することができないため、[コンテンツ]から選択することができません。
- [種類]が“自動”の状態では[コンテンツ]を選択すると、コンテンツファイル名の拡張子に従い自動で種類が選択されますが、“静止画”または“静止画(4K)”の自動判別には対応していません。[種類]が“自動”の状態では静止画のコンテンツを選択した場合、“静止画”が自動で選択されるため4K解像度を持つ静止画を指定する場合、リモコンで[種類]を変更する必要があります。
- プレイリスト作成後、そのプレイリスト名を編集することはできません。
- プレイリストのコンテンツには、USBメモリーにあるコンテンツのファイルパス(但しルートフォルダ配下のmediaフォルダは除く)を指定しますが、プレイリストにコンテンツのファイルパスを設定後、USBメモリー内のそのコンテンツのファイルパスを変更すると正常に再生することができません。

その場合、USBメモリーをBRAVIAに接続時、以下のような画面が出力されます。プレイリストの設定およびUSBメモリーにコピーされているコンテンツのパスを確認してください。

 Error Information

プレイリストに登録されていたコンテンツがUSBフラッシュメモリ  
に存在してません。

USBフラッシュメモリに保存されているコンテンツが削除されたか、  
ファイルパスが変更された可能性があります。

OK



## [スケジュール設定] 画面について

---

- スケジュールを設定する際、毎日実行されるスケジュール、曜日または日付を指定して実行されるスケジュールを指定することができますが、これらがすべて設定されている場合、日付指定のスケジュールがもっとも優先され、その次に曜日指定のスケジュールが優先されます。
- BRAVIA 本体がネットワークに接続されていない、または放送波を受信できない環境において、BRAVIA 本体の主電源をオフにすると、本体に設定された日時および時刻設定が初期値にクリアされます。そのためお使いの BRAVIA 本体がネットワークで接続された環境または放送波を受信できる環境においてのみ、スケジュール再生をご利用することができます。なおそれ以外の環境では、設定したスケジュールどおり再生されない可能性がありますのでご利用の際にはご注意ください。

## 6. BRAVIA を利用したセットアップ

ここでは BRAVIA にプリインストールされているアプリケーションを利用したセットアップ方法を説明します。セットアップ後の本ソフトウェアの使用方法については [3. 基本的な使い方](#) を参照してください。

※ 一部モデルのみインストールされています。また、アプリを使用するためにはファームウェアのアップデートが必要になる場合があります。

※USB時刻保持ユニットをUSBメモリとして使用する場合、本手順によるセットアップはできませんので[はじめに](#)を参照してください。

## 6.1. USB メモリーにセットアップを行う

[1] ホーム画面またはアプリのリストから BRAVIA Signage Free を起動します。



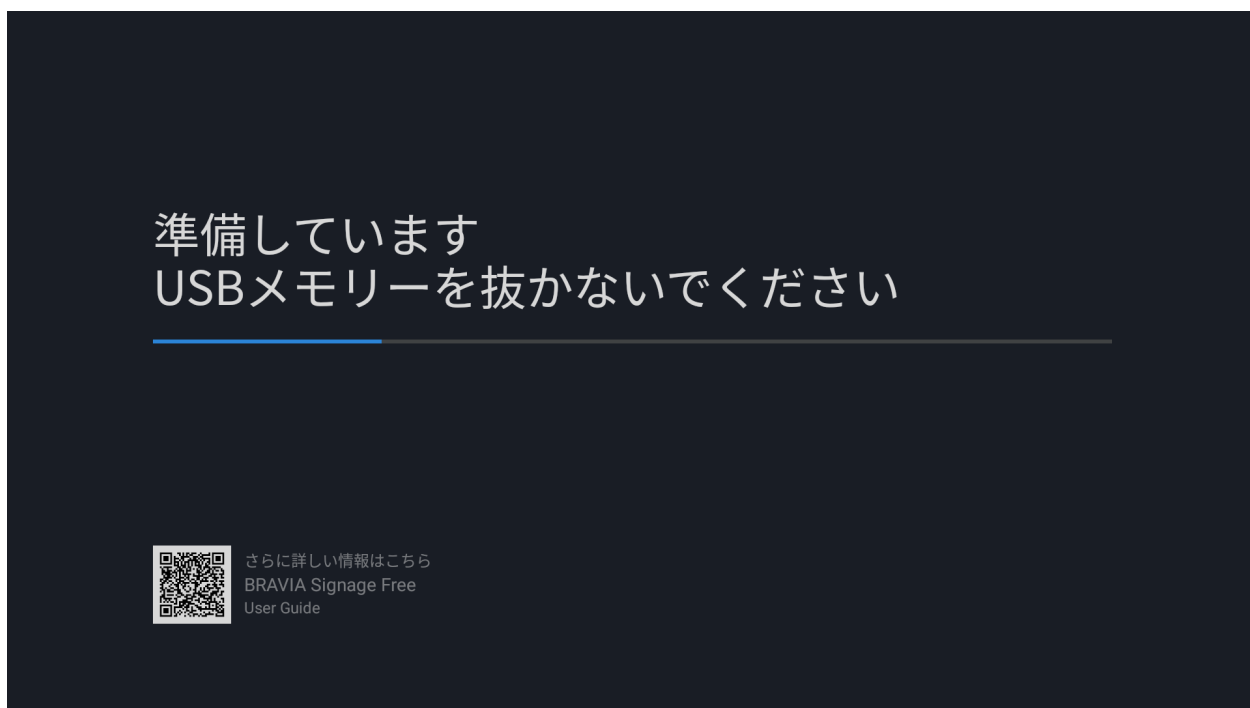
[2] USB メモリーを利用ストレージとして選択します。



[3] 画面の指示に従いお使いの USB メモリーを挿入してください。



[4] USB メモリーを挿入するとセットアップが自動的に行われます。



[5] セットアップが完了したら USB メモリーを抜き、「プロモードの開始」を選択してください。 ※既にプロモードで利用している場合はプロモードを開始する必要はありません。



[6] PC を使用して USB メモリーの media フォルダにコンテンツをコピーしてください。

[7] BRAVIA の再起動が終わりプロモードへの遷移が完了したら USB メモリーを再度 BRAVIA に挿入してください。 ※既にプロモードで利用している場合はそのまま USB メモリーを挿入してください。

[8] アプリケーションが起動しコンテンツの再生が開始されます。起動まで十秒程かかることがあります。

## 6.2. 内蔵ストレージにセットアップを行う

[1] ホーム画面またはアプリのリストから BRAVIA Signage Free を起動します。



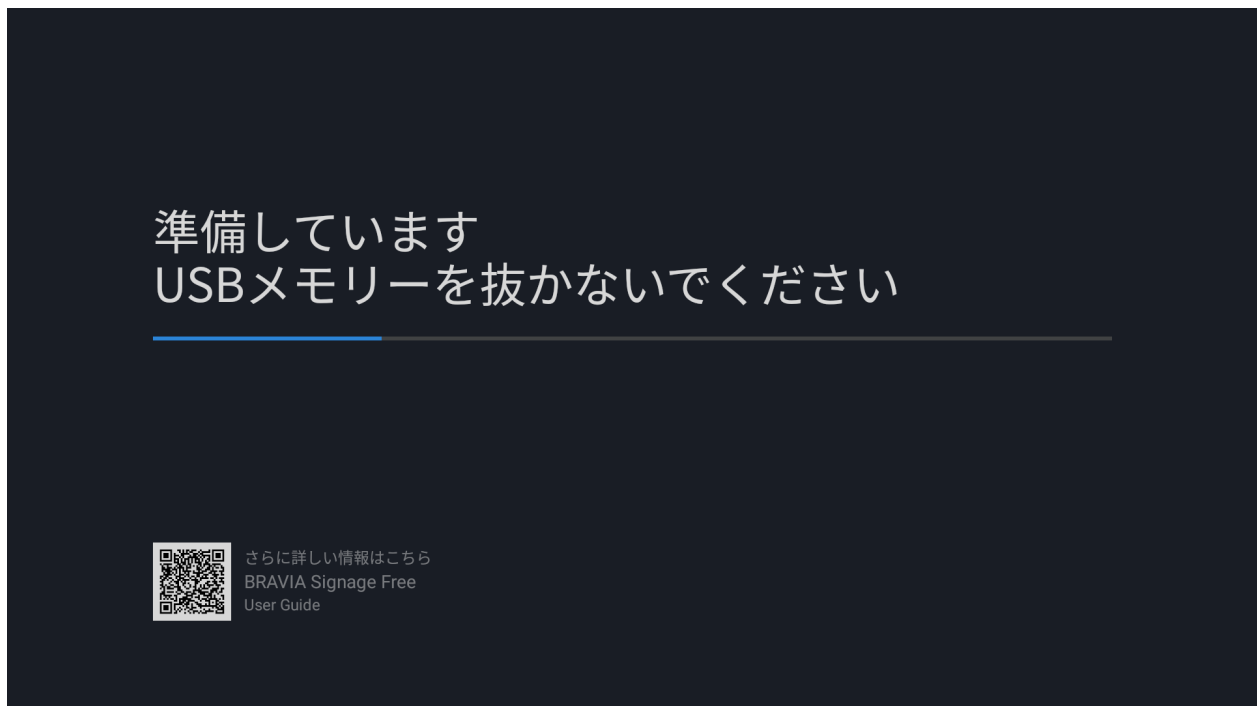
[2] 内蔵ストレージを利用ストレージとして選択します。



[3] 画面の指示に従いお使いの USB メモリーを挿入してください。



[4] USBメモリーを挿入すると内蔵ストレージへのセットアップを行うための準備が行われます。



[4] 準備が完了したら USBメモリーを抜いてください。

## 内蔵ストレージへのセットアップの準備ができました

USBメモリーを取り外し、mediaフォルダにコンテンツをコピーした上で再度挿入すると内蔵ストレージへのセットアップが開始されます。

セットアップにはWebAppRuntimeによるストレージアクセスの許可が必要です。



さらに詳しい情報はこちら  
BRAVIA Signage Free  
User Guide

[5] PC を使用して USB メモリーの media フォルダにコンテンツをコピーしてください。

[6] USB メモリーを再度 BRAVIA に挿入すると内蔵ストレージへのインストールが開始されます。コンテンツのサイズによってインストールに時間がかかることがあります。

[8] セットアップが完了したら USB メモリーを抜き、プロモードの開始を選択してください。以降、USB メモリーを使用する必要はありません。





[9] BRAVIA の再起動が終わりプロモードへの遷移が完了したら、自動的にアプリケーションが起動しコンテンツの再生が開始されます。

## 6.3. 内蔵ストレージを使用した運用を終了する

[1] 再生中であればリモコンのカラーキー「赤」を長押しして、表示されたダイアログで「終了」を選択してください。

[2] ホーム画面またはアプリのリストから BRAVIA Signage Free を起動します。

[3] 下記画面で「停止」を選択してください。 ※停止した場合は再セットアップが必要になります。



## 6.4. 内蔵ストレージにセットアップしたコンテンツを更新する

[1] 再生中であればリモコンのカラーキー「赤」を長押しして、表示されたダイアログで「終了」を選択してください。

[2] ホーム画面またはアプリのリストから BRAVIA Signage Free を起動します。

[3] 下記画面で「コンテンツ更新」を選択してください。



[4] 再度セットアップを実施してください。その際、USB メモリーのコンテンツを更新した上でセットアップを行うことで、内蔵ストレージのコンテンツを上書きすることができます。

# Appendix I. メディアフォーマットの推奨仕様

ここでは BSF で再生可能な動画、静止画、音声ファイルの推奨仕様について記載しています。

## 動画

Container/Codec	Extension	Aspect Ratio	Resolution (Max.)	Bitrate (Max.)	Frame rate	Duration (Max.)
MP4 AVC	.mp4	16:9	3840x2160 (*1)	30 Mbps	30, 60 fps	10 minutes/file
MP4 AVC/HEVC	.mp4	16:9	3840x2160 (*1)	30 Mbps	30, 60 fps	10 minutes/file
MPEG TS AVC/MPEG2	.m2ts	16:9	3840x2160 (*1)	30 Mbps	30, 60 fps	10 minutes/file

(\*1) 4K モデルでの利用した場合の仕様となります。2K モデルをお使いの場合、1920x1080 が推奨仕様となります。

## 静止画

Container/Codec	Extension	Aspect Ratio	Resolution (Max.)	Bit depth information
JPEG	.jpg, .jpeg	16:9	3840x2160 (*1)	Based on JPEG specifications
BMP	.bmp	16:9	1920x1080	8 bit (256 colors) bitmap
PNG	.png	16:9	1920x1080	24bit RGB, 32bit RGBA format
GIF	.gif	16:9	1920x1080	8 bit (256 colors) bitmap

(\*1) 4K モデルでの利用した場合の仕様となります。2K モデルをお使いの場合、1920x1080 が推奨仕様となります。

## 音声

---

Container/Codec	Extension	Bitrate (Max.)	Sampling rate	Channel (Max.)	Duration (Max.)
MP3	.mp3	320 kbps	44.1 kHz, 48 kHz	2 channels	10 minutes/file
AAC	.m4a	320 kbps	44.1 kHz, 48 kHz	2 channels	10 minutes/file

## Appendix II. シームレス再生仕様

ここでは、シームレス再生の仕様について記載しています。

# 対応プラットフォーム

---

- WebAppRuntime 2.1.1 以降
  - BRAVIA でバージョンを確認する方法
    - 設定 > アプリ > システムアプリを表示 > WebAppRuntime を選択

## 必要な設定

---

シームレス再生を行う場合は、切替エフェクトを「無効」にしてください。デフォルトでは切替エフェクトは「有効」になっています。

- 基本設定 > 切替エフェクト > 無効



# シームレス再生可能なコンテンツの組み合わせ

シームレスに再生可能なコンテンツの組み合わせは下表の通りです。

また、使用するコンテンツは Appendix I. メディアフォーマットの推奨仕様 記載の推奨仕様を満たす必要があります。

行：再生中のコンテンツ

列：次に再生するコンテンツ

Container/Codec	MP4 AVC	MP4 AVC/HEVC	MPEG TS AVC/MPEG2	JPEG(4K)	JPEG	BMP	PNG	GIF	HTML
MP4 AVC	✓				✓	✓(*4)	✓(*4)	✓(*4)	
MP4 AVC/HEVC									
MPEG TS AVC/MPEG2									
JPEG(4K)				✓	✓	✓	✓	✓	
JPEG	✓			✓(*1)	✓	✓(*2)	✓(*2)	✓(*2)	✓(2,3)
BMP	✓(*4)			✓(*1)	✓	✓	✓	✓	✓(*3)
PNG	✓(*4)			✓(*1)	✓	✓	✓	✓	✓(*3)
GIF	✓(*4)			✓(*1)	✓	✓	✓	✓	✓(*3)
HTML					✓	✓	✓	✓	✓(*3)

(\*1) 静止画 4K への切り替えでは、初回の再生のみシームレスになりません。

(\*2) WebAppRuntime 2.1.3 未満、かつ再生コンテンツのリストに動画が含まれている場合はシームレスになりません。JPEG からの切り替えをシームレスにするためには、プレイリスト設定で JPEG のタイプを静止画 4K にしてください。ただし、静止画と静止画 4K では同一画像であってもディスプレイ上の画質が異なります。

(\*3) HTML で表示するコンテンツによってはシームレスになりません。

(\*4) WebAppRuntime 2.1.3 以降サポート

# 更新履歷

# BRAVIA Signage Free: 1.2.2

- ドキュメントの誤記を修正

# BRAVIA Signage Free: 1.2.0

- はじめに
  - 本ソフトウェアの入手方法を追記
- 6章
  - プリインストールアプリの利用したセットアップ方法の説明を追加

# BRAVIA Signage Free: 1.1.1

- Appendix II
  - シームレス再生の仕様を更新

# BRAVIA Signage Free: 1.1.0

- 1章
  - シームレス再生サポートの記載を追加
- 3章
  - USB ドライブ自動実行の設定を追記
- Appendix II
  - シームレス再生仕様について記載

# BRAVIA Signage Free: 1.0.0

- 全般
  - ソフトウェア名称を変更
  - ソフトウェア名称の変更に伴いバージョンを 1.0.0 に変更

# Simple Media Player 2: 1.0.3

---

- 全般
  - sony フォルダの利用方法に関する記載を追加
- 5章
  - BGM の再生に関する注意事項を追加
  - “そのほか” に注意事項を追加
- Appendix I
  - 2017 Late Android TV のモデルを更新



# Simple Media Player 2: 1.0.1

---

- 全般
  - テロップのクロール設定の変更に伴い、記述を修正
  - サンプルコンテンツのフォルダ名の変更に伴い、記述を修正
- 5章
  - スケジュール再生に関する注意事項を追加
  - コンテンツ再生全般の注意事項として“そのほか”を追加

# Simple Media Player 2: 1.0.0

- 本ドキュメント初版発行

## 商標表示

macOS is either registered trademark or trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.

Windows and PowerPoint are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

BRAVIA is a trademark of Sony Corporation.